

今日から始める 社会科授業

VOL.2

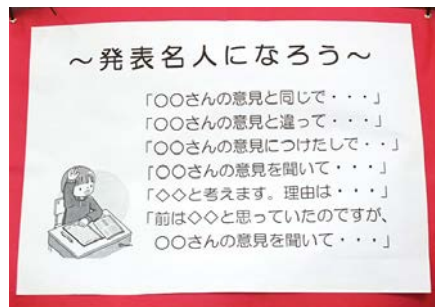
文：神山安弘
東京都江東区立
明治小学校統括校長

子どもが動き出す!話し合い活動

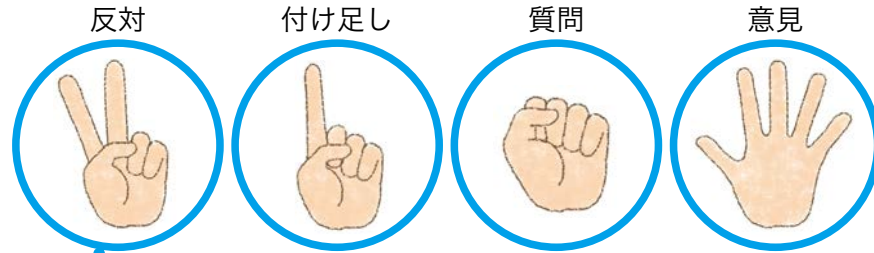
「子ども一人一人が、活躍できる社会科の授業をしたい」と思って教えていますが、『子どもが動く』授業がなかなかできません。先生方からそんな悩みを聞くことがあります。子どもが動き出す授業づくりのポイントは「学習活動」にあります。子どもが意欲的に活動に参加するためには「何のために、どんなことをさせたらよいのか?」と考えることが大切です。ここでは、「話し合い活動」の充実についてお話ししたいと思います。

POINT1

話し合う「目的」は?



みんなで考えを深めていくために、話し合いの話し型を一覧にして、教室に提示したものを。



社会科の授業では、調べたことや考えたことを「言語などで表現する力」が求められます。言語活動の充実による思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力などの育成が背景にあります。話し合い活動を授業に位置付けるとき、大切にしたいのは、次の3点です。

- ①みんなで話し合って、問題解決に向かう授業スタイルを確立する。
- ②自分と友達のを比較・関連・総合するなど、集団思考の場にする。
- ③どうしても解決したいと思う問題を明確にして、話し合いをする。



POINT2

話し合う「内容」の吟味は?

子どもが相互にかかわる場面では、「伝え合う」「交流する」「話し合う」などの活動があります。大切なのは、これらの活動を区別することです。「話し合う」活動とは、自分と友達の考えを出し合い、自分の考えを深めることや、集団の考えをまとめる活動です。この活動で大切にしたいのは、次の3点です。

- ①話し合いの中心となるテーマを明確に提示する。
- ②テーマに対する自分の考えをもって、話し合いに参加する。
- ③教師が、話し合いの方向性を明確にして、発問や指示をする。



POINT3

話し合いの「成果」の検証は?

充実した「話し合い」活動をするには、クラスが自己実現できる場であることや、話し合いのルールが定着していることが前提です。そして、話し合いの成果が自分の学びとして「形」になることが大切です。この活動で大切にしたいのは、次の3点です。

- ①自分の考えを記入したノートに、話し合いで新たに学んだことを付け足す。
- ②グループでの話し合いを、ボードや画用紙などに記録し、発表する。
- ③教師が、クラス全体の話し合いの成果を板書し、授業の流れを明確にする。

